

# 大津町復旧・復興計画概要版

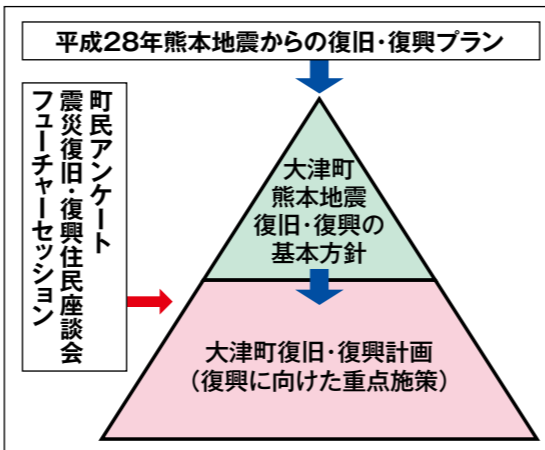
## 第1章 はじめに

● **計画策定の主旨**：熊本地震からの復旧・復興に関する方針を定めるとともに、震災で得た教訓を今後の『大津のまちづくり』に活かしていくための方向性を示す計画です。

● **計画の位置づけ**：緊急かつ重要な特定施策として取り組みを行い、次期の大津町振興総合計画（平成30年度～）と連動させます。計画策定にあたっては町民アンケート等を反映させます（右図）。

● **計画の期間**：平成28年度～平成32年度（復旧期間2年、復興期間3年）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度以降
復旧期間	[赤い棒]					
復興期間	[赤い棒]	[赤い棒]	[赤い棒]	[赤い棒]	[赤い棒]	第6次大津町振興総合計画への引継ぎ



(※復興期間に実施する創造的復興に関わる事業は、第6次大津町振興総合計画に位置づけ、継続的かつステップアップが図られるよう取り組みます。)

● **復興テーマ『個人と地域のつながりを創り、育て、活かす』**

① 住民生活・くらしの再建、② 社会基盤の復旧・経済の再生、③ 命を守る・災害に強いまちづくり

## 第2章 被災状況

✓ **多くの建物被害**

地震による大きな揺れによって、**全壊 147 件、大規模半壊 212 件、半壊 1,111 件**の住家被害を受けました（H29.2.28 現在）。また、大津町役場（庁舎）や小中学校等の施設も被害を受けました。

✓ **ライフラインや産業基盤の被害**

生活にとって重要なライフラインの他、町内の道路や鉄道が被害を受けました。また、農業施設や商工業施設も被害を受けています。

✓ **多くの住民による避難生活**

強い余震のため、避難施設や公民館駐車場等に最大 83 箇所、約 13,000 人が避難する事態になりました。町民に対して実施したアンケート（全世帯配布）等では、この避難所での経験等により、町民の皆さんが日頃からの**地域コミュニティの重要性**を再認識されていることを確認しています。

からいも貯蔵庫の被害状況



地域集会所の被害状況

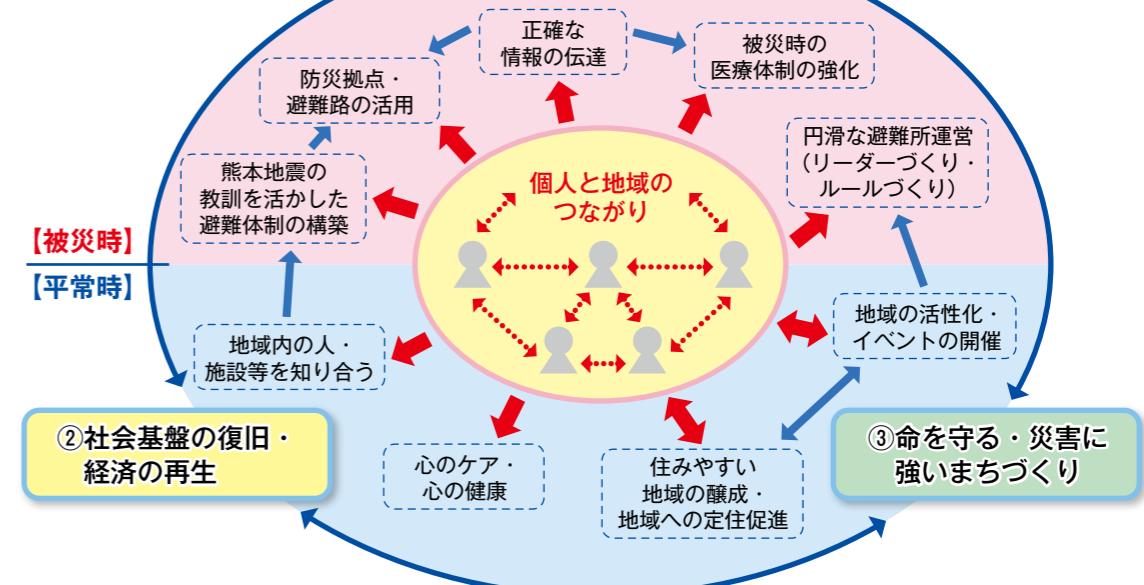


## 第4章 自助・共助・公助の連携

大津町の復興テーマである『個人と地域のつながりを創り、育て、活かす』ことを軸として、個人と各地域のつながりから様々なところに発展し、平常時は大津町振興総合計画でも掲げる「心かよいあうまち」、被災時は「災害に強いまち」づくりを目指します。

### 《大津町の復興テーマ》

個人と地域のつながりを創り、育て、活かす



皆さんの声を踏まえた取り組みの展開

## 第3章 復興に向けた重点施策（基本方針）

### 【1つ目の柱】 住民生活・くらしの再建

#### 1) 住宅の確保

- ・ 応急仮設住宅の建設
- ・ 公費解体撤去や応急修理への支援
- ・ 災害公営住宅の建設
- ・ 耐震診断および耐震改修の助成
- ・ 被災宅地の復旧支援 など

#### 2) 地域コミュニティの維持・再生

- ・ 集会所等の地域コミュニティ施設の復旧
- ・ 災害時要援護者の把握・支援体制の検討
- ・ 地域防災力強化につながる取り組みの推進・支援 など

### 【3つ目の柱】 命を守る・災害に強いまちづくり

#### 1) 災害対応の基盤づくり

- ・ 防災拠点の機能も有する役場庁舎の再建
- ・ 町南部をはじめとする町全体の防災拠点の整備
- ・ 消防団詰所の復旧や防災倉庫の整備
- ・ 物資の備蓄 など

#### 2) 教訓を活かした発災時の対応づくり

- ・ 震災の記録と対応の検証作業
- ・ 発災初期の連携体制づくり
- ・ 災害情報の伝達
- ・ 共助による震災対応の町づくり など

### 【2つ目の柱】 社会基盤の復旧・経済の再生

#### 1) 社会生活基盤の復旧

- ・ 道路、都市公園の災害復旧
- ・ 国道57号の崩落に伴い迂回路となっている町道の補修
- ・ 豊肥線不通区間の公共交通の確保
- ・ 都市計画マスタープランの作成 など

#### 2) 保健・医療・福祉・教育の復旧・充実

- ・ 被災者の「心のケア」
- ・ 災害時の保健・医療の連携体制の構築
- ・ 教育施設、社会体育施設、生涯学習施設、指定文化財の復旧 など

#### 3) 産業基盤の再生

- ・ 農地・農業用施設、林道の災害復旧
- ・ 被災した中小企業等のグループに対する施設復旧支援
- ・ 地域農産物のブランド化や若い世代の雇用確保 など

#### 4) 交流・地域拠点の形成

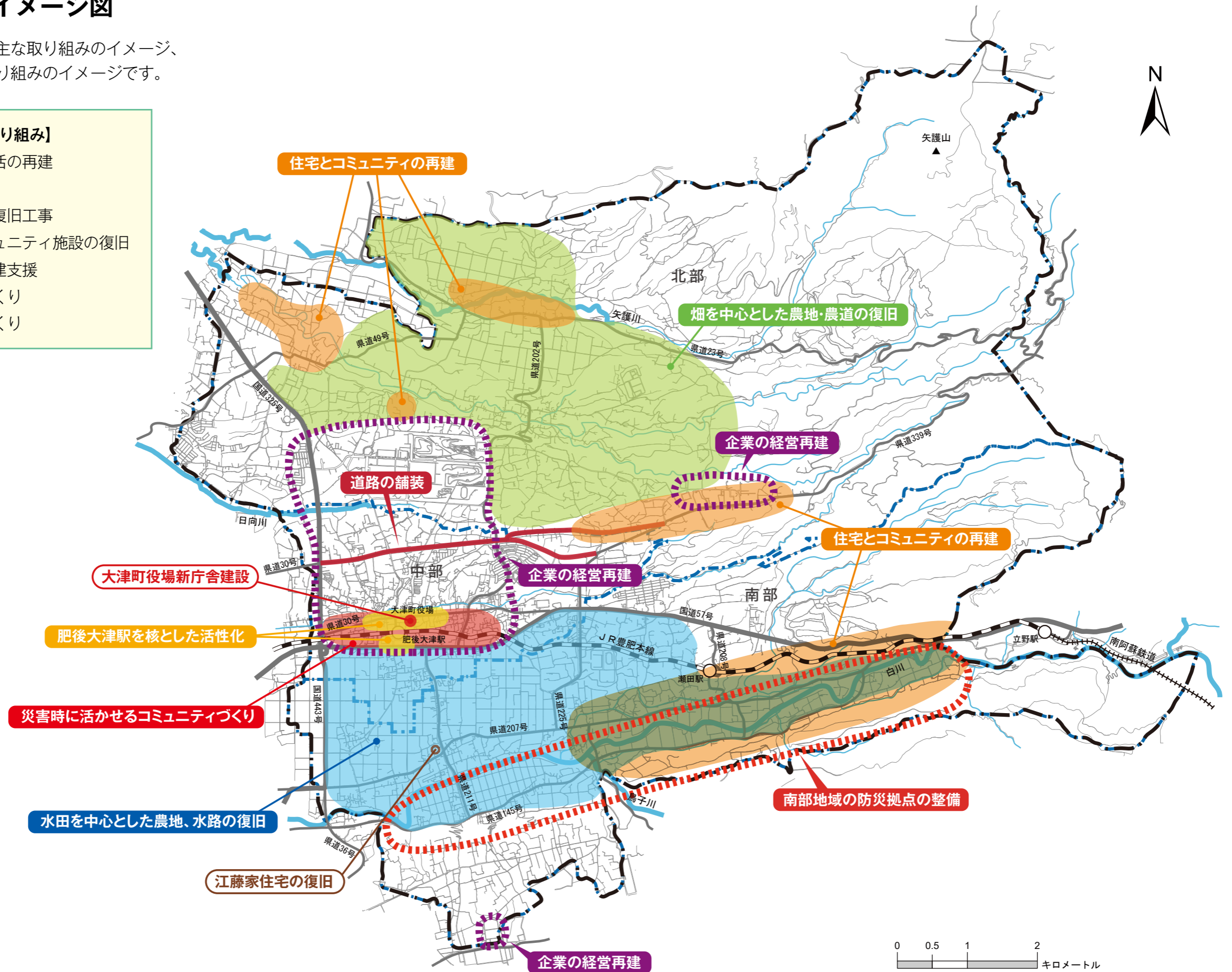
- ・ 肥後大津駅の愛称化に伴う駅南口の活性化
- ・ 肥後大津駅を核とした賑わいの創出

## ● 復旧・復興のイメージ図

※あくまでも、地域毎の主な取り組みのイメージ、町全体としての主な取り組みのイメージです。

### 【町全体としての主な取り組み】

- ①被災された方々の生活の再建
- ②住宅の確保
- ③道路や公共施設等の復旧工事
- ④集会所等の地域コミュニティ施設の復旧
- ⑤企業・個人の経営再建支援
- ⑥発災時の対応体制づくり
- ⑦新たなまちの魅力づくり



0 0.5 1 2  
キロメートル